

# HV series ZV series

HV シリーズ ZV シリーズ

## もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2
2. 取付・設置上のお願い	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認	3
(2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認	4
(3) 建築側の間口・取合い寸法の確認	4
(4) 給湯水管・排水管の位置の確認	4
(5) 床面の仕上げについて	4
(6) 製品の荷受け確認	4
工事区分	5
4. 取付・設置手順	
(1) 水栓の取付け	5
(2) 洗面化粧台の設置方法	5
(3) 引き出しの取外し、取付け	6
(4) 水栓の配管（別途水栓取付・設置説明書参照）	6
(5) 引き出し前板の調整方法	6
(6) 扉の調整方法	7
(7) USトラップの接続	8～10
(8) 水受けトレイの設置	10
(9) コーキング	10
(10) 排水栓（ヘアキャッチャー）の取付け	11
5. 仕上げ	
(1) 清掃	11
6. 点検	
(1) 安全点検	11
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	12
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	12
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	12

## 取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は洗面化粧台のものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

# 1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

 **注意** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

## 警告

電気工事・水道工事は、関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・水漏れの原因になることがあります。



組み込まれる機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



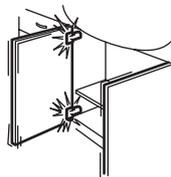
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

## 注意

取付・設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認する。



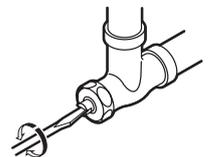
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。



止水栓で給水量を調節する。



水圧が高いと洗面器より水があふれることがあります。



排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行う。



水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

防臭キャップ部のシールは完全に行う。



シールが不完全ですと蒸気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生するおそれがあります。

## 2. 取付・設置上のお願い

### お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

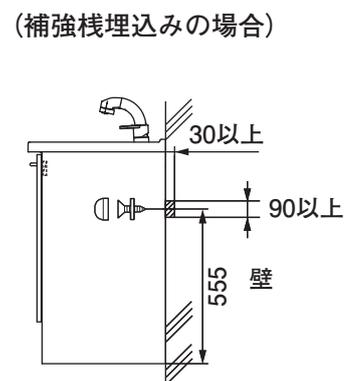
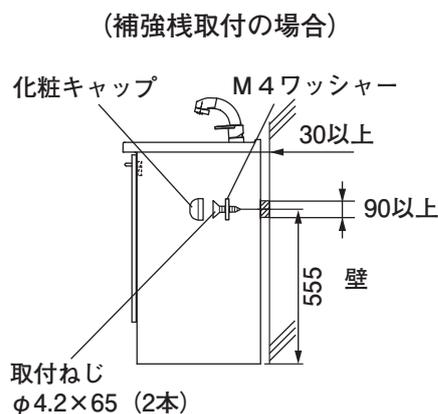
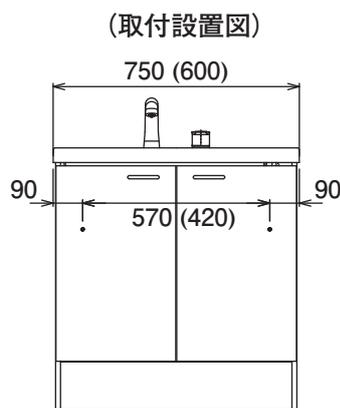
その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。



## 3. 取付・設置の事前確認

### (1) 取付・設置部位の建築側の仕様確認

- ・ 製品を設置しようとする壁面には、下図に示す位置に固定できる補強があることを下地チェッカーで確認してください。補強材は虫食いや腐れのないものを使用してください。
- ・ 洗面化粧台・化粧鏡・吊戸の取付位置は洗面化粧台の取付設置図に従ってください。



※( )内は間口60cmタイプの寸法です。

### ⚠ 注意

製品取付位置の壁面には、固定できる補強があることを下地チェッカーで確認する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

### ⚠ 注意

製品は、水平で平滑な床面・壁面にしっかりと固定する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

### ⚠ 注意

付属の取付ねじ(φ4.2×65)を固定用の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。

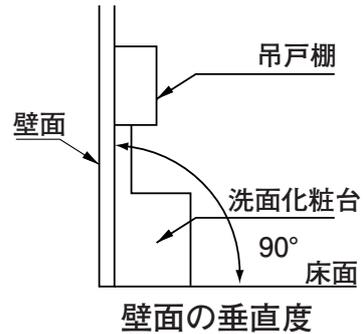


固定用のねじ止め位置はキャビネット毎に決められています。固定が不足したり、位置を変えて固定すると外れたり、落下したりすることがあります。

### 3. 取付・設置の事前確認 (続き)

#### (2) 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルの確認

- ・ 設置場所の水平・垂直・直角などのレベルを確認し、床面上の木クズ・ゴミなどは取り除いてください。
- ・ 洗面化粧台を設置する床面及び壁面に凹凸があると、扉や引き出しに段違いが生じますので、必ず平滑に仕上げてください。



壁面の垂直度

#### (3) 建築側の間口・取合い寸法の確認

- ・ 製品の設置場所の間口、取合い寸法を確認してください。
- ・ 壁の横に引き出し付きのキャビネットを設置する場合は、扉、取手及び引き出しがドア枠、ドア、ドアノブ、見切り等に当たらないことを確認してください。

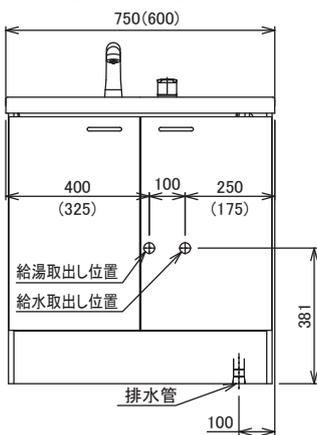
#### (4) 給湯水管・排水管の位置の確認

下図を参考に給湯管・給水管及び排水管が所定の位置にあることを確認してください。建築側排水管は床面より 60 ~ 80mm の寸法で仕上げてください。

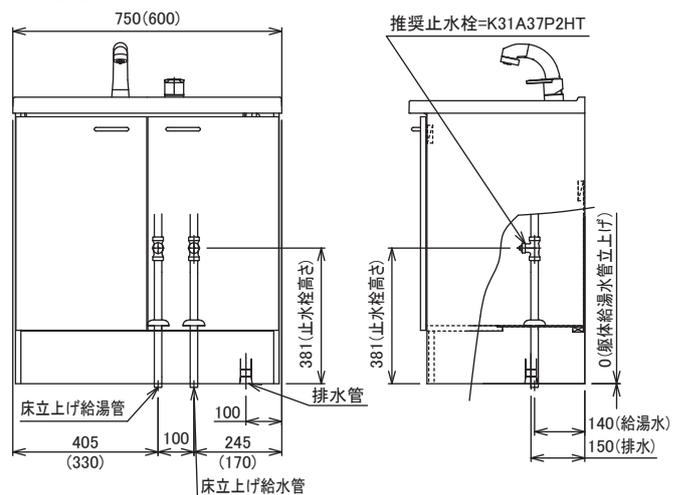
※ ( ) 内は間口 60cm タイプの寸法です。

※ 図中「躯体給湯水管立上げ寸法」は推奨止水栓を使用した場合の寸法です。

##### ● 壁給水の場合



##### ● 床給水の場合



#### ⚠ 注意

給湯水管の床立上げ位置は必ず指定の位置・寸法を守る。

水受けトレーが設置できなくなったり、シャワーホースが止水栓に干渉して引出せなくなるなどのおそれがあります。



#### ⚠ 注意

止水栓の高さは必ず指定の寸法を守る。

給湯水管が届かなかつたり、無理に曲げることで給湯水管がつぶれて漏水するおそれがあります。



#### (5) 床面の仕上げについて

製品搬入前に床面を仕上げてください。

#### (6) 製品の荷受け確認

注文通りの製品が納入されているかどうか、製品の損傷・付属部品の不足はないかなどの製品の荷受け確認をしてください。

注) 点検口フタは底板にテープで貼っています。

取付ねじ (φ 4.2 × 65) .....	2本
M4 ワッシャー .....	2個
防臭キャップ .....	1個
水受けトレー .....	1個
取扱説明書、取付・設置説明書 .....	1セット
点検口フタ .....	1枚
点検口フタ取付ねじ (φ 3.5 × 13) .....	6本
シーリングプレート .....	1枚
排水栓 (ヘアキャッチャー) .....	1個
水栓 .....	1個

### 3. 取付・設置の事前確認（続き）

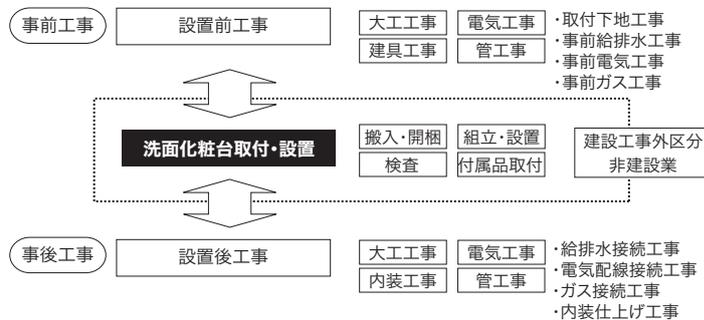
#### 工事区分

#### 警告

- ◎ 本説明書は、洗面化粧台の本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。  
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。  
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「洗面化粧台本体取付・設置」を区別して行ってください。



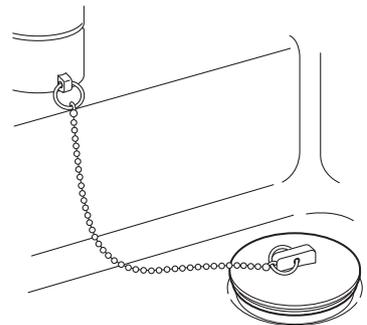
#### 洗面化粧台の取付・設置とユニット工事区分



### 4. 取付・設置手順

#### (1) 水栓の取付け

- ① 水栓を取り付けてください。(別途水栓説明書参照)
- ② 別売りのボールチェーンを付ける場合は、水栓のレバーハンドル側と排水フタのツマミ部分にボールチェーンのリングを取り付けてください。



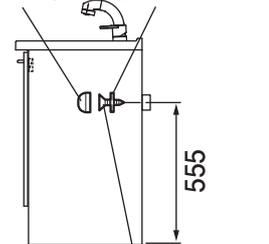
#### (2) 洗面化粧台の設置方法

設置位置に洗面化粧台をセットし、キャビネット内、背板の取付穴より付属のねじで確実に固定してください。

引き出しタイプの洗面化粧台は、引き出しを取り外してから壁面への固定を行ってください。

(次ページ (3) 項参照)

化粧キャップ M4ワッシャー



取付ねじ  
φ4.2×65 (2本)

## 4. 取付・設置手順（続き）

### （3）引き出しの取外し、取付け

引き出しの取外し、取付けをする際は以下の要領で行ってください。

#### ●取外し方法

- ①引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ②ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③引き出しを手前に引きます。

#### ●取付け方法

- ①引き出しを両手で持ち、ローラーを引き出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ②ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
- ③水平に押し込みます。

### （4）水栓の配管（別途水栓取付・設置説明書参照）

### （5）引き出し前板の調整方法

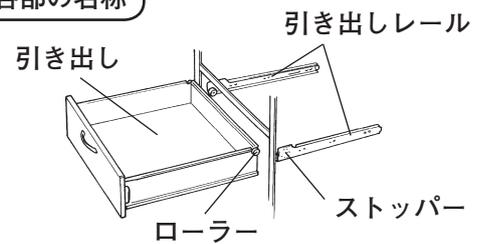
#### 上下調整方法

- ①固定ネジをゆるめます。
- ②上下調整ネジを時計回りに回すと引き出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引き出し前板がA方向に動きます。
- ③調整後は固定ネジをしっかり締め付けてください。

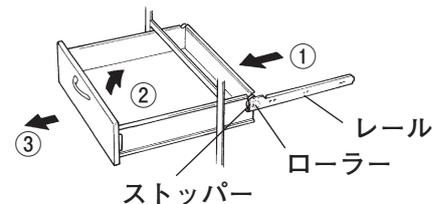
#### 左右調整方法

- ①左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板を左右に調整してください。
- ②調整後は、左右調整ネジをしっかり締めてください。

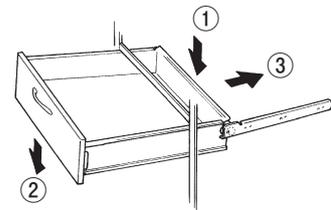
#### 各部の名称



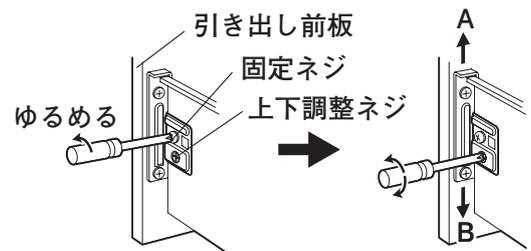
#### <取外し方法>



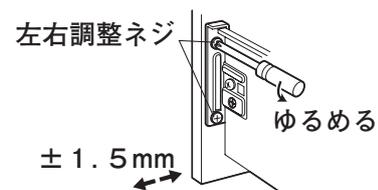
#### <取付け方法>



#### 各部の名称



※上下調整ネジは左右両方の引き出しレールについています。



## 4. 取付・設置手順（続き）

### (6) 扉の調整方法

床面の修正が困難な場合などで扉の段違い調整が必要なときには、スペーサーによる調整方法と丁番による調整方法があります。

#### ●スペーサーによる調整方法

床面と洗面化粧台との間にスペーサーを入れて調整してください。（スペーサーは同梱されていません）

#### ●丁番による調整方法

##### ①左右傾きの調整をする場合（図-1）

左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

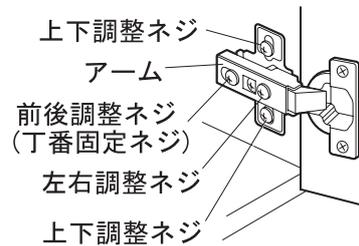
##### ②上下の調整をする場合（図-2）

上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締めつけてください。

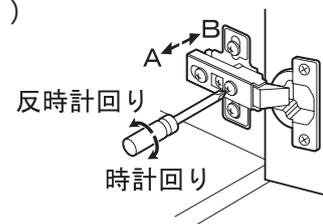
##### ③前後の調整をする場合（図-3）

前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締めつけてください。

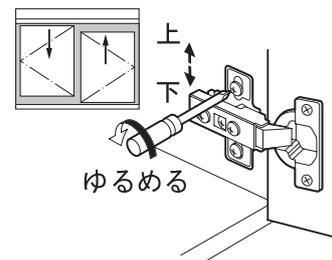
#### 各部の名称



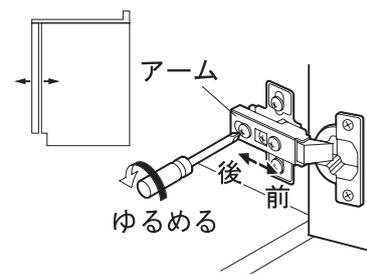
(図-1)



(図-2)



(図-3)



### ⚠ 注意

全ての調整完了後は、上下調整ネジ、前後調整ネジをしっかりと締めつける。  
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。



扉が落下して、けがをするおそれがあります。

## 4. 取付・設置手順（続き）

### (7) USトラップの接続

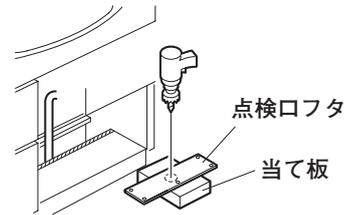
[ジャバラSトラップ仕様／直管Sトラップ仕様共通]

- ①床排水管の立ち上がり位置に合わせて、点検口フタにSトラップを通す穴を開けてください。

(推奨穴径:φ35mm)

(注) ●穴開けの際は必ず当て板を敷いてください。  
点検口フタがわれるおそれがあります。

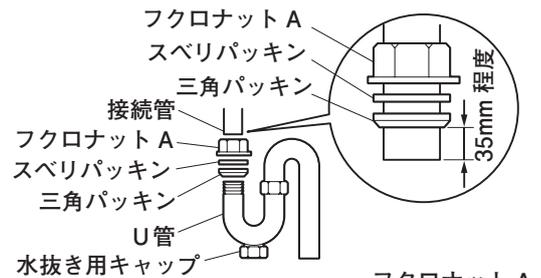
●加工後の端面はやすりなどで仕上げてください。



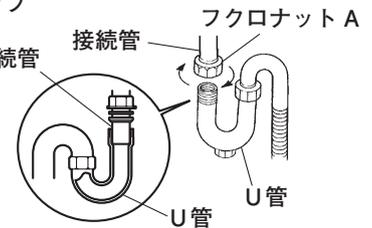
[ジャバラSトラップ仕様の場合]

- ①USトラップのU管に付いているフクロナットAとスベリパッキン、三角パッキンを取り外し、右図のように三角パッキンから接続管が35mm程度出るよう、フクロナットA、スベリパッキン、三角パッキンを排水トラップの接続管に取り付けてください。

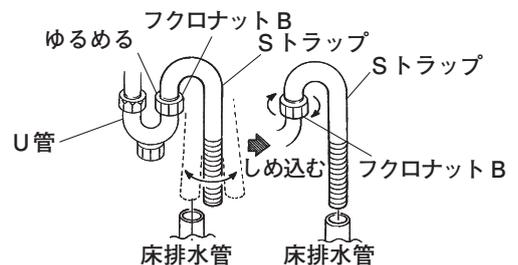
※水抜き用キャップはゆるめたり、外したりしないでください。



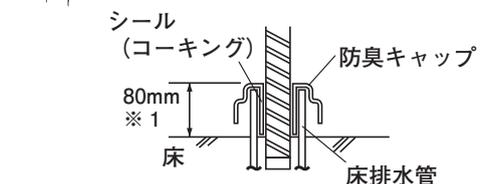
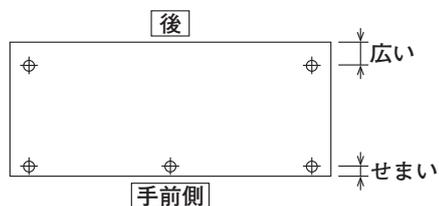
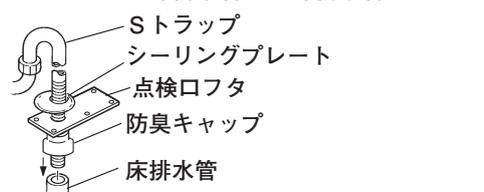
- ②U管を接続管がU管内部に突き当たるよう右図のように取付け、フクロナットAを手でしっかりしめ込んでください。



- ③U管とSトラップの接続部分のフクロナットBをゆるめ、床排水管の立ち上がり位置に合わせてください。位置が決まったら、フクロナットBを手でしっかりしめ込んでください。



- ④Sトラップにシーリングプレート、点検口フタ、防臭キャップを通し床排水管に挿入してください。  
注)点検口フタの端部と取り付け穴との距離がせまい方を手前側に向けて取り付けてください。



- ⑤床排水管との接合部に防臭キャップを確実にはめ込み完全にシールしてください。

※1の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。最小で60mm確保してください。

### ⚠ 注意

各部のフクロナットがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいる場合は手でしっかりとしめ込む。



水漏れの原因になります。

### ⚠ 注意

防臭キャップを床排水管に確実にめ込みシールは完全に行う。

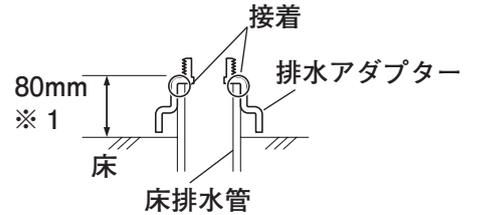
はめ込みやシールが不完全ですと防臭キャップが抜けてしまい蒸気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生するおそれがあります。



## 4. 取付・設置手順（続き）

[直管Sトラップ仕様の場合]

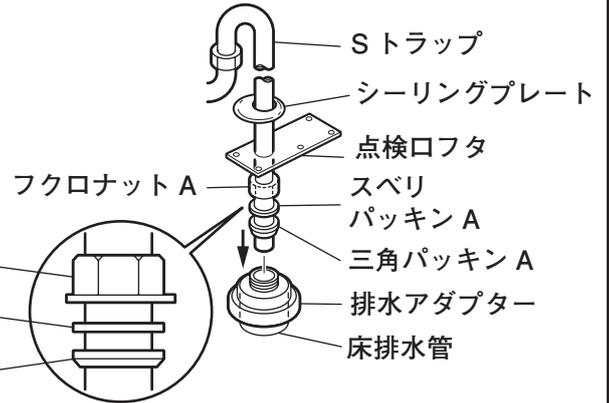
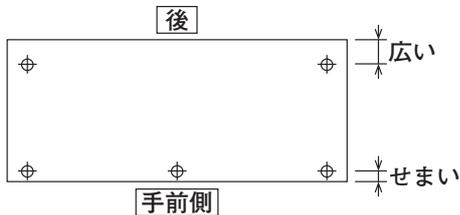
- ①排水アダプターのフクロナットAとスベリパッキンA及び三角パッキンAを取り外し、排水管に接着してください。



※1の立上げ寸法については、製品の高さにより変更してください。最小で60mm確保してください。

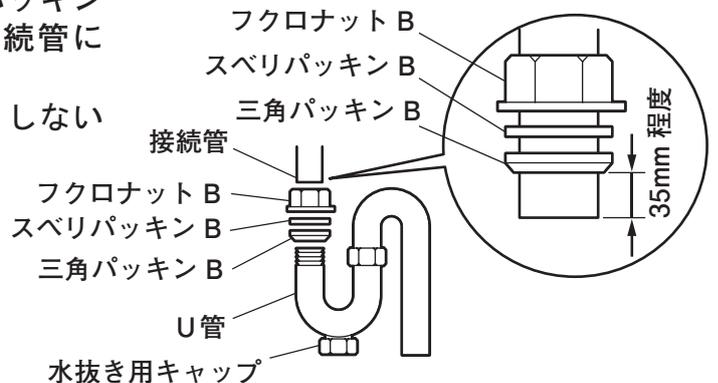
- ②Sトラップにシーリングプレート、点検口フタ、フクロナットA、スベリパッキンA、三角パッキンAを通し床排水管に挿入してください。

※三角パッキンの取り付け向きに注意してください。  
注)点検口フタの端部と取り付け穴との距離がせまい方を手前側に向けて取り付けてください。



- ③USトラップのU管に付いているフクロナットBとスベリパッキンB、三角パッキンBを取り外し、右図のように三角パッキンから接続管が35mm程度出るよう、フクロナットB、スベリパッキンB、三角パッキンBを排水トラップの接続管に取り付けてください。

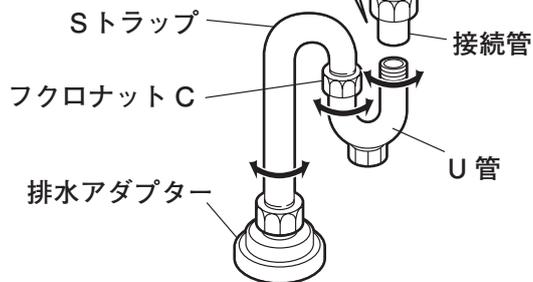
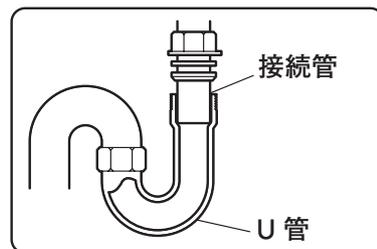
※水抜き用キャップはゆるめたり、外したりしないでください。



## 4. 取付・設置手順（続き）

- ④ フクロナット C をゆるめ、U管とSトラップの接続部分の排水トラップの接続管に位置を合わせてください。

位置が決まったら右図のように接続管がU管の内部に突き当たるよう取り付け、各部のフクロナットを手でしっかりと締め込んでください。



### ⚠ 注意

各部のフクロナットがゆるんでいないか確認し、ゆるんでいる場合は手でしっかりと締め込む。



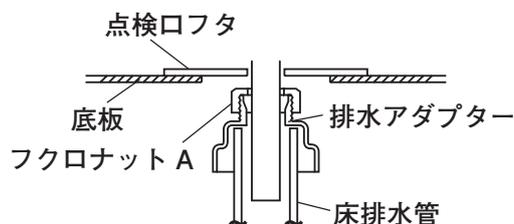
水漏れの原因になります。

- ⑤ 排水アダプターのフクロナット A を手でしっかりと締め込んでください。

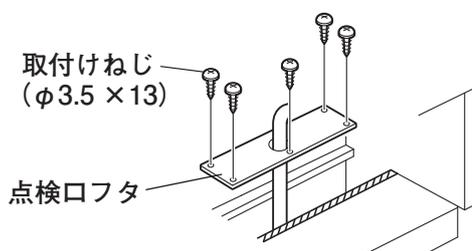
### ⚠ 注意

排水アダプター部のシールは完全に行う。

シールが不完全ですと蒸気などにより床を濡らしたり、キャビネット内部に結露が発生するおそれがあります。

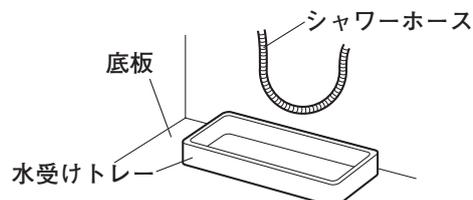


- 点検口フタを底板に取付けねじ（φ3.5×13）で固定してください。



### (8) 水受けトレイの設置

- 水受けトレイをキャビネット内シャワーホースの下に設置してください。  
(シャワーホースからの万の水たれを受けるものです。)



### (9) コーキング

- 洗面化粧台と壁面が接する部分は必ずコーキング処理してください。

### ⚠ 注意

コーキング処理はすきまのないよう確実に進行。



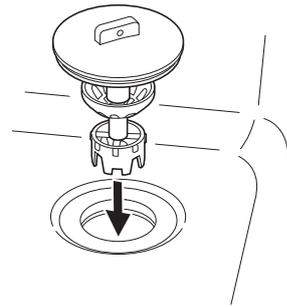
すきま部分より水が浸入し、キャビネットが腐食するおそれがあります。



## 4. 取付・設置手順（続き）

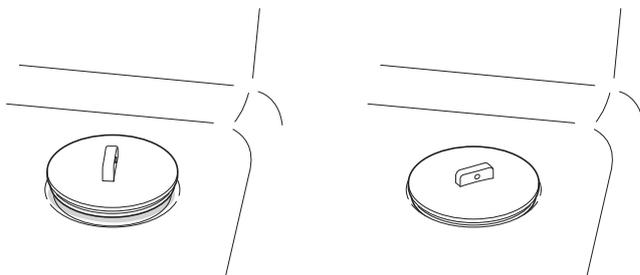
### (10) 排水栓（ヘアキャッチャー）の取付け

- 排水口に付属の排水栓（ヘアキャッチャー）を入れてください。



排水栓設置後、以下の方法で、開閉が確実にできることを確認してください。

- ①排水ふたのツマミを持ち、排水栓を持ち上げてください。
- ②排水栓を45°程度回し、排水栓を戻してください。



開いた状態

閉じた状態

## 5. 仕上げ

### (1) 清掃

- ・ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて、軽く拭いた後、水拭きしてください。
- 水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

### お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉等の使用は、製品の変色・変質の原因となります。

## 6. 点検

### (1) 安全点検

- ・取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ・扉や引き出し前板に傾きがないこと、がたつきや緩みのないこと、及び正常に作動することを必ず確認してください。
- ・給水栓を全開にして5分間程度通水し、給湯水管および排水管などの各部に水漏れのないことを確認してください。

## 7. 完了後の処置

1. 商品の養生について
  - ・製品および組込機器などは、お引渡しまでの間キズ、汚れがつかないように覆いをしておいてください。
2. 取扱説明書の保管・引渡し方法
  - ・製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

## 8. 残材処理

- (1) 梱包材その他残材の処置
  - ・不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。